

バイヤー7つの誓い

2024年11月1日

1.バイヤーは会社の顔です

- ・バイヤーは会社の顔であることを認識し、関東精機のミッション「ブランドを支えるブランドでありたい」に則った、品位ある言動を貫きます。
- ・バイヤーの存在意義は、「より良いもの」を「より良い条件」で調達することであると認識します。
- ・サプライヤーを関東精機の「ファン」にするのは、バイヤーの大切な役割です。

2.サプライヤーは対等なパートナーです

- ・関東精機の経営理念「3. 私たちは、国内外のパートナーおよびサプライヤーと共に、『勝てるバリューチェーン（価値の連鎖）』を構築する」を達成するための無くてはならない対等なパートナーと認識し、敬意をもって接します。
- ・サプライヤーからのあらゆる提案に対し、真剣に検討します。
- ・年齢の上下に関わりなく、サプライヤーには常に敬語を使います。

3.バイヤー個人への贈答品は受け取りません

- ・サプライヤーからバイヤー個人への金品や贈答品は一切受け取りません。万が一受け取ってしまった場合は、事業工場長を通じて返却します。

4.接待は極力お断りします

- ・サプライヤーより会食の申し出があった場合は、懇親や情報交換を目的とする場合のみ、事業工場長の事前の許可を得てお受けします。また、事後にも事業工場長に報告します。
- ・こちらからは会食を持ちかけません。会食が必要な場合は、関東精機持ちで行います。
- ・重要な商談決定や選定の前などには、会食をお受けしません。
- ・会食は原則として一次会のみとし、過剰な申し出があった場合は辞退します。
- ・会食の目的は、情報交換と、関東精機のファンづくりの場であると認識し、自らがサプライヤーを接待しているつもりで行動します。

5.価格の妥当性を追求します

- ・価格の妥当性の確認のために、つねに相見積を行います。
- ・相見積を行えない場合は、その理由を明確にします。

6.透明で公正な業務遂行に努めます

- ・法律を遵守します。
- ・相見積のための相見積は行いません。
- ・空注文のような行為を絶対に行わず、見逃しません。
- ・サプライヤーとの間に業務上の貸し借りは作りません。
- ・不適切なバイヤー行為については、社長に直接報告され、内容によっては就業規則に従い、懲戒の対象になることを認識します。

7. どのような厳しい交渉のあとでも、笑顔をもって、和やかな雰囲気締めくくります。

以上